

地域からの風 石巻篇 ブックフェアリスト（選書：石巻まちの本棚） 会期：2019年7月30日（火）～8月10日（土）コミュニケーションギャラリーふげん社

1	復興の書店 (小学館文庫)	稲泉連	小学館	ベタですが本屋さんを通して震災を感じる本。石巻の本屋さんの話も。
2	紙つなげ! 彼らが本の紙を造っている: 再生・日本製紙 石巻工場 (ハヤカワ・ノンフィクション文庫)	佐々涼子	早川書店	日本製紙は東北パルプ時代から続く石巻最大の企業。「本の紙」を作っていることをこの本で改めて認識させられた。
3	石巻 2011.3.27~2014.5.29	橋本照高	春風社	石巻出身の写真家橋本さんによる震災後の写真集
4	石巻片影	橋本照高	春風社	石巻出身の写真家橋本さんによる震災後の写真集 第2弾
5	新版 北上川	橋本照高	春風社	昭和30~40年代の石巻の写真
	PLANET OF WATER	高砂 淳二	日経ナショナルジオグ	石巻出身の写真家最新写真集。主に海をフィールドにして活動されています。
6	身近な雑草の芽生えハンドブック1 改訂版	浅井元朗	文一総合出版	石巻出身の雑草博士による、芽生えのうちに雑草を判別する画期的なハンドブック。主に耕作地の雑草。
7	身近な雑草の芽生えハンドブック2	浅井元朗	文一総合出版	こちらは主に人里の野草地の雑草
8	石ノ森章太郎のマンガ家入門 (秋田文庫)	石ノ森章太郎	秋田書店	宮城県登米市出身の石ノ森先生。先生の萬画の力がなかったら、石巻はもっと寂しくなっていたはず。
9	漫画超進化論 (河出文庫)	石ノ森章太郎	河出書房新社	昨年生誕80周年を迎え、石ノ森先生の偉大さを改めて感じております。
10	赤い雪 普及版	勝又進	青林工藝舎	惜しくも亡くなられていますが、石巻市(旧河北町)出身のガロ系漫画家。
11	深海魚	勝又進	青林工藝舎	原子核物理学を学んでいた勝又さん。原発作業員の漫画が、震災後に話題に。
12	リバーエンド・カフェ(1)~(3)	たなか亜希夫	双葉社	石巻出身のたなかさん。石巻まちの本棚周辺の今のまちの風景がそのまま登場。今年のReborn Art Festival2019にも出展。
13	芭蕉自筆 奥の細道 (岩波文庫)	松尾芭蕉	岩波書店	憧れの松島の後に石巻で一泊。当時は思ったより賑やかで驚いたらしい。
14	アラスカ物語 (新潮文庫)	新田次郎	新潮社	石巻が出てくる小説といえばこれ。石巻出身のフランク安田が主人公。
15	三陸の海 (講談社文庫)	津村節子	講談社	デビュー前に吉村昭とお二人で石巻には世話になったというエピソードが。
16	侍 (新潮文庫)	遠藤周作	新潮社	石巻市民はみんな知っているサンファン・パウティスタ号で支倉常長は石巻からスペインに向け出航。
17	もの食う人びと (角川文庫)	辺見庸	KADOKAWA	石巻出身で初の芥川賞作家。特に最近の作品は難解で地元石巻ではあまり人気がないように感じます。
18	志賀直哉 [ちくま日本文学021]	志賀直哉	筑摩書房	父親の赴任先であった石巻で生まれましたが、すぐよへ引っ越ししてしまいました。
19	街道をゆく (26) 嵯峨散歩、仙台・石巻 (朝日文庫)	司馬遼太郎	朝日新聞社	江戸時代に栄えていた川港の話、吉田松陰が石巻に来た話、ハイカラ建築ハリストス正教会など。
20	宮沢賢治の元素図鑑—作品を彩る元素と鉱物	桜井弘	化学同人	修学旅行で北上川を下って初めて海を見たという宮沢賢治。
21	東北おんば訳 石川啄木のうた	新井高子	未来社	賢治の10年ほど前に同じく修学旅行で石巻に。のちに北海道から上京の船で、石巻の荻浜に寄港している。
22	三陸わかめと昆布 浜とまちのレシピ80	婦人之友社編	婦人之友社	石巻発のわかめレシピ本。地元民でもあまりワカメ料理のバリエーションがないので意外と重宝します。
23	復元船サン・ファン・パウティスタ号大図鑑	公益財団法人慶長遣欧 使節船協会	河北新報社	慶長遣欧使節団の歴史のみならず、木造大型帆船を復元した、石巻の古くからの造船会社村上造船の最後の大作の記録として。
24	日本人とくじら 歴史と文化 【増補版】	小松正之	雄山閣	捕鯨の歴史、日本全国のくじら文化が紹介されています。石巻市鮎川の話も。
25	クジラ博士のフィールド戦記	加藤秀弘	光文社	主に科学的学術対象としてのクジラ。そしてやはり捕鯨問題についても。
26	クジラとともに生きる: アラスカ先住民の現在	岸上伸啓	臨川書店	1000年も続いているアラスカのイヌピアット (いわゆるエスキモー) の捕鯨と鯨を食べる文化。どのようにして今なお漁を続けているのか。
27	津浪と村	山口弥一郎	三弥井書店	1933年の三陸大津波のあと、三陸の小さな漁村を丹念に訪ね歩き、集落移動を分析した民俗学の本。
28	女講中の民俗誌 牡鹿半島における女性同士のつながり	戸邊優美	岩田書院	宮城県の牡鹿半島 (石巻市) に近年まで残っていた女講中の民俗誌
29	気仙大工が教える木を楽しむ家づくり	横須賀和江	築地書館	気仙大工は、気仙地方 (三陸の宮城~若手県境付近) のみならず、宮城県内あちこちで仕事しているはず。
30	リボンアート・フェスティバル公式記録集	リボンアート・フェ スティバル事務局	アートダイバー	2017年に石巻市で開催された芸術祭「Reborn Art Festival」の公式記録集。今夏は8月3日から!
31	時の余白に	芥川 喜好	みずす書房	美術記者として多くの作家と交わり、展評や記事に長年携わって来た芥川喜好さんの連載コラム。ガダルカナル島で戦死した石巻出身の彫刻家高橋英吉も登場。
32	復興から自立への「ものづくり」: 福島のおかあさんが作ったくまのぬいぐるみはなぜバリエで絶賛されたのか	飛田 恵美子	小学館	ものづくりでいかに震災から立ち上がったかの物語。石巻工房や牡鹿半島の浜の女性たちでつくるアクセサリーOCICAも掲載
33	東北の震災復興と今和次郎 ものづくり・くらしづくりの知恵	黒石 いずみ	平凡社	1933年の昭和三陸地震の被災地・東北に住民に寄り添いながら行われた、今和次郎による社会基盤づくりのさまざまな試み。
34	三陸海岸大津波	吉村昭	文春文庫	明治から昭和にかけて三陸海岸を襲った大津波をめぐるノンフィクション。
35	唄めぐり	石田千	新潮社	全国の民謡とそれを受け継ぐ人たちのルポ。宮城県の「大漁唄い込み」も登場。

リトルプレスなど

1	たべるつくる石巻 (春夏編)	阿部司 ほか	日本家政学会	石巻の郷土料理や地元食材の調理方法を紹介する本。秋冬編が待ち望まれます。
2	石巻古地図散歩 2	NPO石巻アーカイブ	NPO石巻アーカイブ	昭和34年の石巻・渡波の商店と会社の地図を、懐かしい写真と解説付で復刻
3	うぶすながみ		うぶすながみ編集部	石巻の女性たちによる、石巻が縁で授かった「お産文集」
4	浅井元義スケッチ石巻7 「ふるさと石巻・思い出の風景	浅井元義	きた出版	石巻の美術界に貢献した石巻出身の美術の先生による、主に1980年代の石巻の町並みを描いたスケッチ画。
5	石巻学 (2) 特集 映画		石巻学プロジェクト	石巻の魅力を伝える地域誌。
6	石巻学 (3) 特集 牡鹿とクジラ		石巻学プロジェクト	
7	石巻学 (4) 特集 音楽		石巻学プロジェクト	最新号
8	我ナジェーシダ (希望) あり 石巻若宮丸漂流物語	大島幹雄	テラシネ通信社	石巻から出航した回船若宮丸の船員たちが、漂流の末にロシア人に助けられ、世界一周して故郷に帰るというドキュメンタリー小説。
9	いしのまき浜日和一浜の暮らしと旅の本	いしのまき浜日和製作 委員会	ISHINOMAKI 2.0	石巻まちの本棚の運営に関わるISHINOMAKI 2.0の出版。石巻地方のリアスの浜で出会える食、文化、人、もの、見どころ、楽しさを紹介。
10	DEEP&NEW 牡鹿		ISHINOMAKI 2.0	石巻の牡鹿半島の魅力を詰め込んだフリーペーパー。
11	本があるから	Book! Book! Sendai	Book! Book! Sendai	BBS10年間の活動の記録。石巻まちの本棚の記事も。
12	セントラル劇場でみた一本の映画		ベトラ	仙台のセントラル劇場に通った人達のエッセイ。